

5月のどきどき

北の音楽隊がやってきた

5月8日、追分公民館20周年記念事業として「北の音楽隊」演奏会が開催され、札幌交響楽団と絵本作家そらさんが出演、事前に整理券を持つ町民の皆さんで会場は埋め尽くされました。

クラシックの生演奏を体験した来場者からは、プロの演奏を聴くことができて良かった、クイズもあつて楽しかったとの声を聞くことができました。



春を見つけに



安平町体力づくり推進協会主催の歩こう会。追分地区を5コースに分け、参加者は好みのコースを歩きます。

春はまだ遠く感じた5月11日の早朝、各集合場所には、日頃から健康づくりに積極的な老若男女、74名が集まり、新鮮な空気を堪能しました。「寒くないですか?」と問えば、「あんたも歩きなよ。あつたまるよ。」と答えてくれそうな笑顔が清々しい。

50名の迫力ある歌声に

5月12日、安平町の女声合唱団コーラス・ドルチェと結成62年という歴史をもつ苦小牧合唱団が初の合同コンサートを開催。

ドルチェの女声合唱曲3曲に続き、苦小牧合唱団が迫力ある歌声を披露。最終ステージは、合同で復興支援ソング「明日へ花は咲く」など4曲を重厚感ある歌声で観客を魅了。観客は心に響く歌声と、合唱の素晴らしさに酔いしれました。



魅惑の甘い香り

アサヒメロン初出荷

5月15日、野菜共同集出荷場でアサヒメロンの初出荷が行われ、2戸の農家が品質検査を受けました。

低温等の影響で1週間から10日間ほどの生育の遅れがあるものの4〜6玉入りで出荷された20箱のうち、16箱に最も評価の高い「秀」が付付けられました。

糖度15度を超えるアサヒメロンは16日に行われた初競りで1箱15万円という値が付き、販売店へ卸されます。



目標は高く 全児童で田植えを実施



5月29日、昨年よりも少し暖かい気温で遠浅小学校恒例の田植えが行われました。田んぼを提供している阿部修一さん（早来新栄）によると、「去年よりも断然上手」と児童たちの上達ぶりを絶賛。同校の田植えは18年ほど前から毎年実施されています。去年は225kgを収穫。今年の夏は暑くなると言われていますが、天気に恵まれれば去年を上回る収穫が期待できそうです。